

「幻の都・恭仁京と名宝・加茂の三塔を活かした民学官による観光まちづくりプロジェクト」

地域の現状と課題(提案の背)

- ・豊かな自然、歴史的文化的遺産など、観光資源が数多くあるものの、活かしきれていない。
- ・コミュニティバスについて、観光要素を加え、更に利便性の高いバスシステムへの転換が求められている。

取組のねらい・実施主体間の連携等

【ねらい】

市町村合併により魅力が増した観光資源を市民との協働による再発見と情報発信を充実させるとともに、地域公共交通に観光要素を加味して、利便性の高いバスシステムに転換することで、観光による地域の活性化・再生を目指します。

【実施主体】

実施主体と観光協会やNPO団体、大学等の連携により事業に取り組むとともに、市民主体の持続性のある展開できる観光のまちづくりの仕組みづくりを検討します。

主な取組

(1)バスシステムの転換による地域再生事業

観光と連携させたバスシステム構築に向けた社会実験

見込まれる効果等
コミュニティバス利用者の増

(2)観光ボランティア等との協働による観光資源発掘事業

観光資源の再発見と地域の魅力を伝えるプレゼンテーション戦略、地元への還元方策・活性化の検討
観光パンフレットの作成

見込まれる効果等
観光入込客の増

(3)観光情報の発信力向上事業

歴史的文化的遺産を素材とした観光による地域活性化・再生のための、情報コンテンツの整理と観光と公共交通を連携させた情報サイトの立上げ

見込まれる効果等
ホームページのアクセス数の増

・観光協会、NPO、市民との協働による、持続的展開が可能な体制づくりの強化と事業の充実
観光情報の充実とまちの活性化 地域公共交通の充実 関連事業との連携

H21年度以降の展開

・観光客の増加と地域住民との交流による、元気な地域の再生！！

地方再生の目標像

目指すべき地方再生の全体

地方の元気再生事業

幻の都・恭仁京と名宝・加茂の三塔を活かした民学官による観光まちづくり (京都府木津川市)

地域公共交通を観光要素を加味した利便性の高いシステムに転換するとともに、魅力ある自然・歴史的文化遺産などの資源を市民を中心とした民・学・官協働により見直し、情報発信を拡充させることで、観光資源活用による中山間地域活性化モデルを目指す。



↑ 九体阿弥陀如来像(国宝)が
安置される浄瑠璃寺本堂
地域を走るコミュニティバス →



平成20年度の主な取組

- ① コミュニティバス路線に国宝・重要文化財等の観光資源を加えた回遊性の高い路線設定により観光ネットワークとしての機能を強化。住民と観光客双方の利用増による収益改善を図る。
- ② 地域の文化遺産の映像データベースやポッドキャスト機能などITを活用した新しい観光プレゼンテーションの仕組みづくりを行い、観光入込客の増加と、リピーター化を図る。

平成21年度以降の展開

利便性の高い新しいバスシステムを構築・推進、地域資源を活かした新情報システムの充実と新たなコンテンツの発掘による観光人口の増加と交流を図り、更には平城遷都1300年記念に向けた地域内共同事業による地域の活性化及び、元気な地域の再生を図る。

選定された提案の概要 (ホームページ「地域活性化統合本部会合」より)

【事業概要・実施計画（案）】

（１）事業の目的等

目的（事業のねらい）

- ・本市の歴史的文化的遺産等の地域資源・観光資源の再発見、情報発信機能を充実させ、地域公共交通に観光要素を加味することにより、利便性の高いバスシステムに転換し、地域の活性化・再生を図る。

対象地域

- ・木津川市域（本年度における主たる対象地域については、加茂地域とする。）

（２）事業の内容

バスシステムの転換による地域再生事業

- ・観光と連携させたバスシステムの構築の検討
- ・コミュニティバス社会実験（準備経費、実験効果分析等を含む。）

観光資源発掘事業

- ・観光資源の再発見と地域の魅力を伝えるプレゼンテーション戦略等の検討
- ・観光パンフレット等の作成

観光情報の発信力向上事業

- ・歴史的文化的遺産を素材と公共交通を連携させた情報サイト(ホームページ又はブログ)の立上げ
- ・歴史的文化的遺産のデータベース化

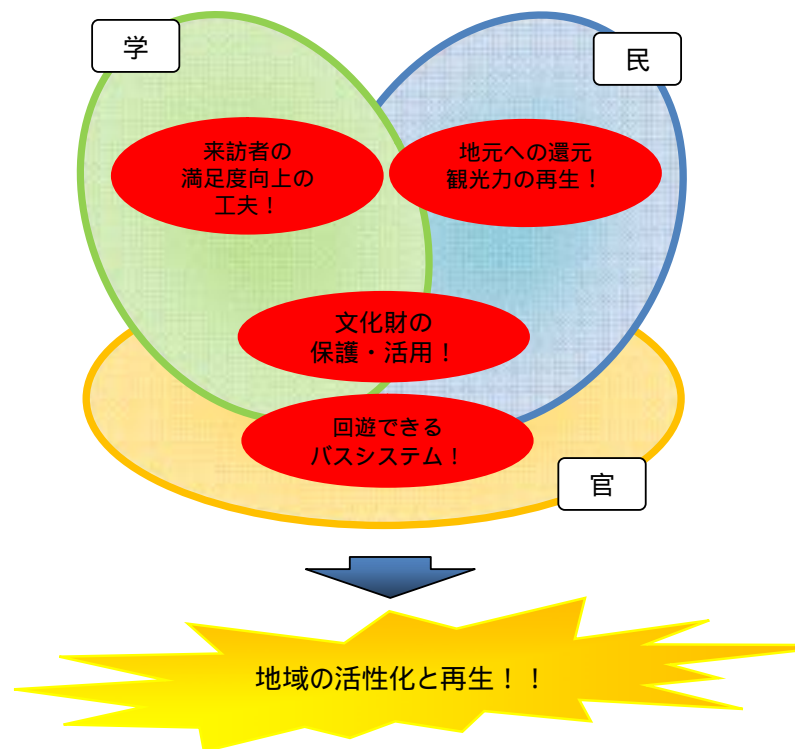
（３）概算事業費

項目	概算事業費
バスシステムの転換による地域再生事業	1 2 百万円
観光資源発掘事業	3 百万円
観光情報の発信力向上事業	8 百万円
計	2 3 百万円

補助率...10/10

各事業の取組内容の具体化により、事業間での事業費の増減等が生じる場合があります、

概念図



(4) 今後の進め方について

平成20年10月～平成21年2月

実施取組 ・バスシステム構築に向けた社会実験の実施

実施取組 ・観光パンフレットの作成

・市民協働による観光・プレゼンテーション戦略の検討と公共交通対策の連携方策検討

実施取組 ・情報サイトの立ち上げ

平成21年3月

平成20年度事業の評価と改善点の検討

次年度の達成目標の検討

<平成21年度事業に向けて> (計画)

平成21年度～

・情報サイトの充実に向けた新たなコンテンツの発掘

・コミュニティバス・福祉バスの再編に向けた実証運行

・平城遷都1300年記念事業を活用した観光と地域公共交通の活性化

・市民との協働体制の充実と関係機関協議

【地方の元気再生事業について】

(1) 事業制度の概要

- ・持続可能な地方再生の取組を抜本的に進めるため、地域住民や団体の発意を受け、地域主体の様々な取組を立ち上がり段階から包括的・総合的に支援する。
- ・平成20年度創設（平成20年度から3ヶ年を予定）
- ・事業を選定後、内閣府地域活性化推進担当室から、提案内容に最も関係する省庁に予算を差し替えた上で、関係省庁と提案団体との委託契約による調査として実施する。
- ・調査実施後に取組の成果を検証する評価を実施、継続して事業を行う場合には、2年目の継続の適否を判断する。

(2) 全国の応募・採択状況

応募状況

- ・地方再生の取組を進める上で鍵となるプロジェクトの立ち上がり段階からソフト分野を中心に、集中的に支援を行うメニューのため、1,186件、総額約230億円の応募があった。
- ・全国様々な地域から応募されており、応募主体についてもNPO等の民間法人が45%、地方公共団体が22%、官民連携の協議会が33%と地域活性化に取組む多様な主体から提案されている。

採択状況

	全国	うち近畿ブロック（京都府内）
応募総数	1,186件	120件
採択総数	128件	11件（2件）